項目	確認事項	届出内容
er. i	大学等名1(代表大学等)	静岡理工科大学
	大学等名1(代表大学等)※カナ	シズオカリコウカダイガク
	大学等名1(代表大学等)学校所在地	中部地方(愛知県を除く)
	大学等名1(代表大学等)学校種別	私立大学
	大学等名2(連携大学等)	
	大学等名2(連携大学等)学校所在地	
	大学等名2(連携大学等)学校種別	<i>∧ 5</i>
	科目名	インターンシップ
		理工学部、情報学部
	学部・研究科等名	
	担当教職員名•役職	理工学部准教授(インターンシップ責任者) 宮地竜郎
	受講者数(H29年度実績)※インターンシップ参加者数	102
基本情報	受入企業等数受入企業等名	62 アーティス、アート電子、アイゼン、アクティ森、天方産業、磐田市役所、磐田信用金庫、エキスパートパワーシズオカ、エズカ工業、NS Kワーナー、榎本工業、遠鉄ストア、大石建設、オートベル、小楠金属工業所、川崎工業、KYOUWAエンジニアリング・ラボラトリー、クリオックフ、フィーマ、コーリツ、コーワメックス、サイダ・UMS、サカエ金型工業、三栄ハイテックス、サンテック、三明機工、CDS、静岡ビルサービス、システック、静鉄ストア、島田市役所、食鮮館タイヨー、榛葉鉄工所、親和製作所、スーパーラック、鈴与システムテクノロジー、スペースクリエイション、太洋紙業、高松電機、ティージェイエス、東海サーモエンジニアリング、東横イン掛川新幹線南口、ドコモCS東海、豊橋鉄道、ニッパ、ノダ、ハマキョウレックス、浜ニペイント、藤枝市役所、富士山静岡空港、藤田鉄工所、富士ホンダ(ホンダカーズ東富士)、ベルファーム、ポーラ化成工業、牧之原市役所、松本印刷、ユニインフォーメーション、ユニ・チャームプロダクツ、リンク・アンビション、レオパレス21、ロジック、ワイエムジー、
	インターンシップの分類	ワイケーデザインリンク 2.有給インターンシップ 5.他県をまたぐ広域インターンシップ 6.低学年(大学1年次~2年次程度)からのインターンシップ 8.大企業・グローバル企業でのインターンシップ 9. 中小企業でのインターンシップ 10. 地元企業・経済団体や地方公共団体等との協働による地域密 着型のインターンシップ
	上記以外のインターンシップの分類(記述欄)	
	1-1.当該インターンシップは、就業体験を伴うものになっていますか。	1.はい
要	1-2.該当する就業体験	1.企業等における業務への従事 2.企業等における課題の解決(例:ワークショップ、PBL型プログラム、課題解決ワーク、課題事例研究等)
素	1-2.で「3.その他」の就業体験の内容(記述欄)	
1	1-3.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	①音や人間の動きに反応するセンサー、②信号処理&マイコンによる演算処理、③音と光の出力&モーター駆動 この3つを組み合わせ人間の動きに追従する音響システムを完成させよう。開発は数名のチームで行い、最終日に社員の前で発表してもらう。
要素②	2-1.当該インターンシップを正規の教育課程の中に位置付け、シラバス等において、インターンシップの実施目的や期待する教育的効果を明確にしているなど、体系的なプログラムとして単位認定が行われていますか。	1./はい
	2-2.該当するインターンシップの内容	2.当該インターンシップは、キャリア教育科目として実施している 6.当該インターンシップは、選択科目として実施している 7.当該インターンシップは、授業期間中に実施している 8.当該インターンシップは、休業期間中に実施している
	2-2.「9.その他」で実施しているインターンシップの内容(記述欄)	
	2-3.当該インターンシップを実施する年次(記述欄)	2年次、3年次
	2-4.当該インターンシップで付与される単位数(記述欄)	1単位
	2-5.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	2年生、3年生の I 類(人間・文化科目)のキャリア形成プログラムとして選択科目「インターンシップ」として実施している。5日間以上の就業体験と事前ガイダンス3回、レポート提出、報告会への参加を単位認定の条件とし、人格形成・教養教育のための社会体験の獲得を目的としている。
	3-1.インターンシップの実施前の学生・企業双方との目標設定や目的のすり合わせや、実施後の振り返り等を行うなどの適切な学修の時間が設けられていますか。また、インターンシップの教育的効果が発揮されるようインターンシップ期間中に適切なモニタリングを実施していますか。	1./はい

要素③	3-2-1.該当する事前学習の内容	1.学生に対して、社会人としてのマナーや守秘義務の遵守、パソコンの使用方法等を身に付ける授業等を行っている 2.学生が受入企業の事業内容等に関する事前の調査・研究を行っている 3.学生に対して、インターンシップにおける成果目標の確認や行動計画等の策定を行っている 4.学生に対して、正規の教育課程としてのインターンシップの実施目的や期待する教育的効果の理解を促している
	3-2-1. [5.その他]で実施している事前学習の内容(記述欄)	
	3-2-2.該当する事後学習の内容	1.日報やレポート等を用いて、現場での体験の振り返りを行っている。 2.報告会等により、インターンシップの成果について、受入企業や担当社員へのフィードバックを行っている。 3.振り返りを実施し、成果目標等の達成について確認を行っている
	3-2-2.「4.その他」で実施している事後学習の内容(記述欄)	
	6 2 2. 4. CVIE. C	1.インターンシップ中に、教職員が定期的に企業等に赴き、学生と
	3-2-3.該当するモニタリング	面談を実施している
	3-2-3.「3.その他」で実施しているモニタリングの内容(記述欄)	
	3-3-1.事前学習の内容に関する詳細(記述欄)	全3回の事前学習では、1回目:インターンシップ概要、目的、心構え等、2回目:企業、仕事、求められていること、何を得るのか等、3回目:実習に当たって、実習準備、実習後について等の事前研修を行っている。
	3-3-2.事後学習の内容に関する詳細(記述欄)	インターンシップ終了後、実習報告書と事後研修レポートの提出 と、受入企業と学生との報告会を実施している。学生、企業の発表 後に意見交換会も実施している。
	3-3-3.モニタリングの内容に関する詳細(記述欄)	学生が在籍する学科の教員が実習期間中に企業を訪問し、受入 のお礼と学生の状況や要望等の確認を行っている。相互のイン ターンシップへの理解や教員の企業理解にも役立っている。
要素④	4-1.インターンシップの教育的効果を定量的・定性的に把握できる手法・仕組みを取り入れていますか。	1.はい
	4-2.該当する教育的効果を測定する仕組み	1.アンケートやレポートの作成をインターンシップの実施前後で実施し、学生の意識や行動の変容について確認を行っている
	4-2.「4.その他」で実施している教育的効果を測定する仕組み(記述	
	欄) 4-3.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	事前研修レポートにより、目的、実習先の選定理由、何を得たいのかを設定し、達成度合いを自分自身で評価している。また、担当教員による評価と実習先企業からの評価をしてもらい点数化した評価を行っている。企業評価は学生にフィードバックしている。
	5-1.一定期間のまとまりのある連続した5日間以上のインターンシップの実施期間を確保していますか。	1.はい
	5-2.該当する実施期間	1.連続した5日間以上の実施期間を確保している
		5日間
要	5-2.で「1.連続した5日間以上」を選択した場合(記述欄)	
素	5-2.で「2.事前・事後学習を合わせて5日間以上」を選択した場合(記述欄)	
	5-2.で「3.複数の企業等を合わせて5日間以上」を選択した場合(記述欄)	
	5-2.「4.その他」の実施期間の内容(記述欄)	
	5-3.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	企業等へは受入依頼時に5日間以上の受入をお願いしている。学生に対しても単位取得用件として5日間以上の実習期間を条件としている。
要素⑥	6-1.大学等と企業の双方が関与し合い、学生に対する教育的効果の 最大化に努めているなど、大学等と企業が協働してプログラムを設計 していますか。	1.はい
	6-2.該当する大学等と企業の協働取組の内容	1.企業や産業界にとっての意義やメリット、必要な成果等を考慮し、企業と協働してインターンシッププログラムを設計している 2.大学等が行う事前・事後学習等に企業等も参画し、協働して実施している 3.企業担当者が学生に対して適切に関与し、目標達成に導くなど、大学として必要な支援を行っている 4.受入企業等も、インターンシップ中の学生に対する評価を実施している
	6-2.「7.その他」で実施している大学等と企業の協働取組の内容(記述欄)	

	6-3.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	インターンシップの意義や本学としての目的、教育上の配慮、日程 や期間等を事前に確認した上で、大学と企業との「インターンシップ に関する覚書」を締結し、大学と企業が互いに負担にならないよう 協力して、教育効果の向上に努めている。
	7.上記①~⑥で回答した各要素の内容について、詳細が記載されて いるシラバスなどの資料が閲覧できる大学等のウェブサイトのURL	http://www.sist.ac.jp/pdf/col/syllabus_gakubu2017.pdf
問	大学等名	静岡理工科大学
しい	担当部署名	キャリア支援課
	担当者役職名	課長
合わせ先	担当者氏名	氏原秀之
	電話番号	0538-45-0116
	メールアドレス	ujihara.hideyuki@sist.ac.jp